

「自然エネルギー学校 in 野田村」開催のお知らせ

～6月に完成した野田村だらすこ市民共同発電所を舞台に、地域の自然エネルギーを担う人材を育成します～

NPO 法人太陽光発電所ネットワーク(東京都文京区、略称 PV-Net)と NPO 法人環境パートナーシップいわては、今年6月に岩手県九戸郡野田村に建設・完成した「野田村だらすこ市民共同発電所」とその周辺地域を会場に、地域の自然エネルギーを担う人材育成を目的とした「自然エネルギー学校 in 野田村」を、9月21日(土)、22日(日)の2日間で開催します。

PV-Net では今後、同村との連携のもと、第1号発電所の発電データやメンテナンスに関するノウハウをベースに、2号機、3号機と市民共同発電所を拡大させ、野田村に自然エネルギーを定着させることを目指します。その主役となるのは地元の人たち。「自然エネルギー学校 in 野田村」は、地元・野田村の人々に加え、地域の活性化や災害への備えとして地域コミュニティ発電所の建設を検討している全国の方々に向けたプログラムであり、さらに教育を越えた共育(共に育む)の場をつくります。



イベント名	自然エネルギー学校 in 野田村 ～復興の中に見る自然エネルギーの活用～
主催	自然エネルギー学校 in 野田村実行委員会
後援	野田村
日程	9月21日(土)、22日(日)
会場	岩手県九戸郡野田村(だらすこ工房、国民宿舎えぼし荘、アジア民族造形館) 盛岡駅よりマイクロバスで向かいます。現地集合を希望される方はご相談ください。
プログラム概要	<p>【1日目 / 野田村だらすこ市民共同発電所～えぼし荘】</p> <p>●市民共同発電所建設の現在「なぜいま地域コミュニティー発電所か」</p> <p>野田村だらすこ市民共同発電所完成までのあゆみを振り返り、2号機の建設候補地の見学と測量、設計のノウハウを学びます。その後、グループごとに建設プランを作成します。</p> <p>【2日目 / えぼし荘～アジア民族造形館】</p> <p>●3.11 から学ぶ～現地の震災ガイドによる野田村被災地の見学・現地を学ぶ(1)</p> <p>●アジア学講座「アジアと南部曲り家集落の野田村日形井を結ぶもの」・現地を学ぶ(2)</p> <p>●独立型太陽光発電システムの自作</p> <p>リユースパネルを活用し、実生活でも利用できる独立キットを作ります。完成したシステムは屋外へと持ち出して、LED やファンの接続し、太陽光発電を体感します。さらに発電量の測定と独立系の生涯発電量についても学び、未来のオフグリッドを身近にします。</p> <p>●ソーラーシェアリング「農業と太陽光発電の併業の可能性を探る」</p>
参加費	野田村在住の方 2,000 円 / 一般 6,500 円 / 太陽光発電所ネットワーク会員 5,500 円 (別途、実費として 15,000 円程度(宿泊費、食費、バス移動費)を予定)
申し込み方法	下記 URL からチラシ & 申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、FAX またはメールでお送りください。 http://www.greenenergy.jp/guide/pdf/event20130921.pdf 「住所」「氏名」「携帯電話番号」「メールアドレス」「参加区分(野田村在住 / 一般 / 会員)」「盛岡駅までの交通手段」を明記の上、メールでのお申し込みも可能です。
お申込み	NPO 法人太陽光発電所ネットワーク
お問合せ先	http://www.greenenergy.jp/ http://www.peoplefund-support.com/ TEL:03-5805-3577 FAX:03-5805-3588 E-MAIL: info@greenenergy.jp

■ 野田村だらすこ市民共同発電所とは

岩手県の北東部に位置し、太平洋に面した自然豊かな野田村は、2011年3月11日に発生した東日本大震災によって、大きな被害に見舞われました。震災から2年が経つなか、地元の被災住民グループ・だらすこ工房は、環境パートナーシップいわて、PV-Netの三者で、「合同会社野田村だらすこ市民共同発電所」を設立。一般市民から募る市民ファンド(復興支援 野田村だらすこ太陽光市民ファンド)を原資とした発電所の建設と、その後14年にわたる運営を行う太陽光発電事業をスタートさせました。そして今年6月、「野田村だらすこ市民共同発電所」が完成。現地で行われた点灯式には、関係者や出資者、小田祐士野田村長ら約50名が参加し、被災地主導となる自然エネルギーの導入を祝いました。

モジュール容量/枚数: 49.5kW/216枚
 予想年間発電量: 52,000kWh/年
 予想年間売上高: 220万円



12月初旬 鍍入れ式



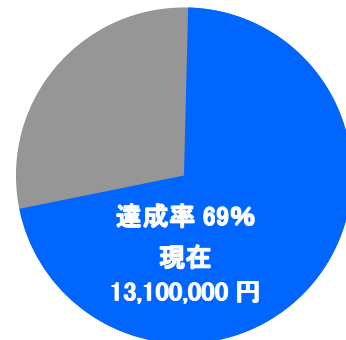
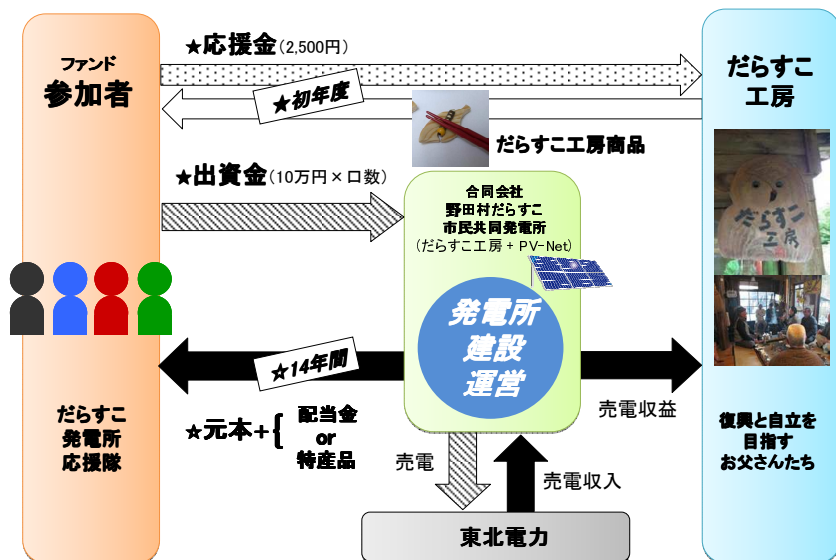
12月中旬 専門家の指導のもと架台建設工事



6月 完成記念点灯式

■ 「復興支援 野田村だらすこ太陽光市民ファンド」について

「復興支援 野田村だらすこ太陽光市民ファンド」は1口10万円で、募集口数は189口。目標1%の配当は、「現金」または「野田村の物産品」での受け取りを選択できます。ファンドの参加時には2,500円の応援金をお支払いいただきますが、このお金はだらすこ工房の職人さん手づくりの木工製品へと変わり、出資者の方々に届けられます。このように本ファンドは、単なる資金集めにとどまらず、被災地の仕事づくり(木工製品、太陽光発電技術者)や地域への還元(売電収益、物産販売)につながる取り組みです。出資者と被災者の架け橋となることで野田村ファンを増やしていきたいという願いも込められています。また、寄付とは異なり、意志ある市民のお金が、目に見える形で運用されることも大きな魅力です。復興支援という目的上、同発電所は緊急を要する形で建設されましたが、まだ目標金額には届いていません。現在、63名の方から131口のお申し込みをいただき、残りあと少しとなっています。引き続き申し込み受付中です!



ファンド募集状況